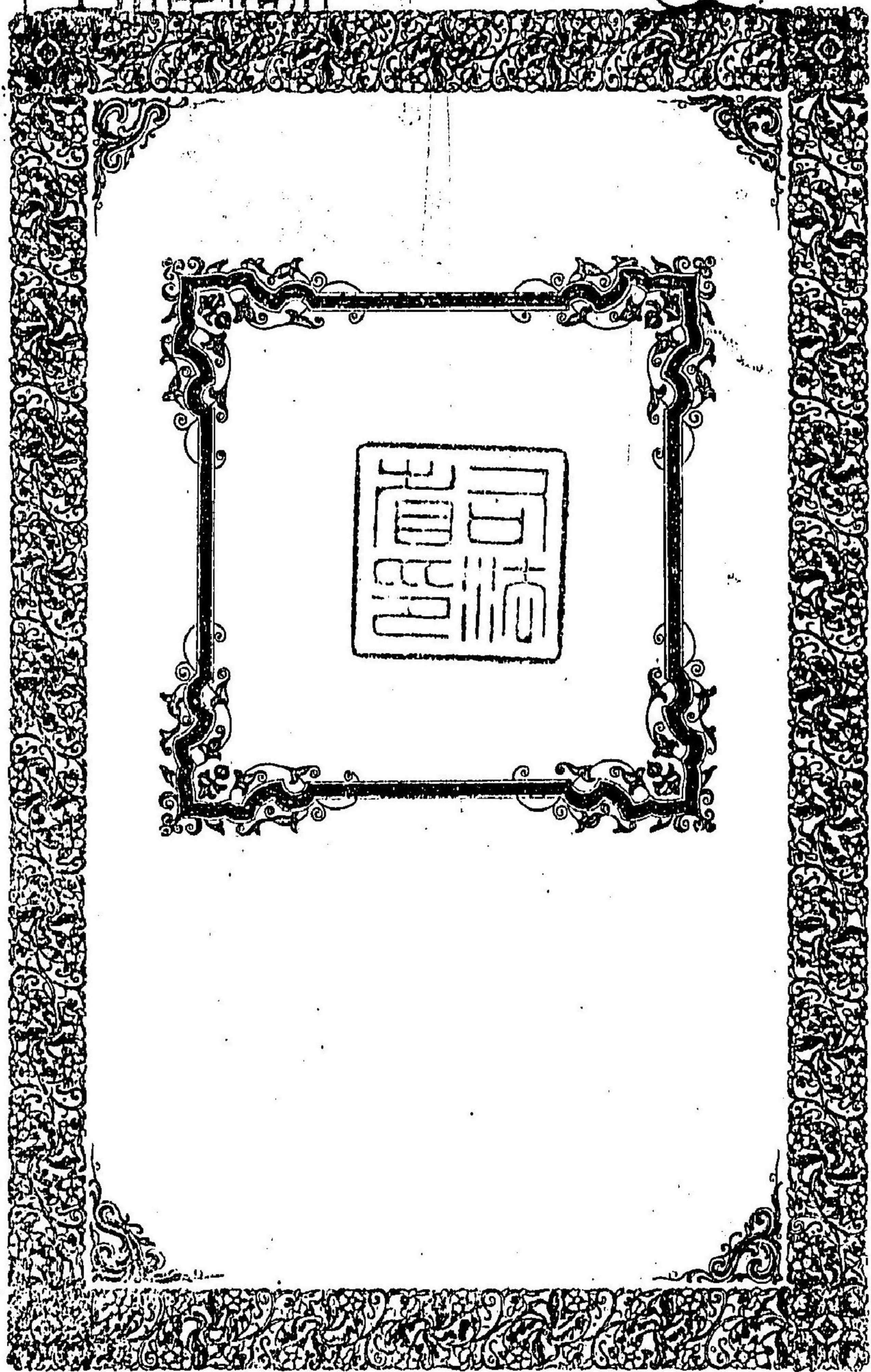


佛國大學校法律博士アラン・ド・カステラ講義

佛國民法契約篇講義

司法省藏版

東京圖書印



東京圖書印

佛國民法契約篇講義卷之三



明治九年圖書局交付

ボアソナード講義

名村泰藏口譯

佛國法律博士

日本權中法官

第二款 契約ヲ爲ス者其契約ヲ結ビ得
可キ事

第二十三條 法律上ニテ特ニ契約ヲ結
可カラサル禁アル者ノ外如何ナル人ト雖モ
契約ヲ結ブヲ得可レ

東京大学

法学部

能力ハ契約ノ効アルト効アラサルトニ關スルモノニシテ契約ノ成立チニ關スルモノニアラス
不能力者ノ爲シタル契約ハ全ク其効ナキ者トハナサス併シ廢棄スヘキ者トス
凡ソ人ニ於テ能力ナキ者ナシ唯其内ニ不能力者ハ取除ケナリ
不能力者ノ内ニ一般ノ不能力ト別段ノ不能力トバニツノ區別アリ
一般ノ不能力者ノ中ニ一生ノ者ト又ハ期限ア

ル者トノニツアリ即チ幼者○婚姻ヲ爲シタル婦○治産ノ禁ヲ受ケシ者是レナリ
別段ノ不能力者ハ別段ノ場合アル者ナリ別段ノ不能力者ハ止タ或ル權利ヲ禁シ又ハ或ル事ヲ爲スト能ハサル者ナリ例ヘハ現今審理中ノ訴訟ノ權利ヲ其裁判官ニテ買フト能ハサルノ類ナリ
夫婦ハ相互ニ賣買スルヲ能ハス
後見人ハ其幼者ノ物ヲ買フト能ハス假令ヒ競賣スルモ之ヲ買フト能ハス

前二件ノ區別ノ説カントス
一般ノ不能力者ノ契約ハ或場合ニ因リ成立ツ
トアリ例ヘハ後見人ノ許シヲ得テ契約ヲナ
ス等是レナリ
別段ノ不能力者ノ契約ハ更ニ成立ツトナシ
今説ク所ノ能力ニ付テノ不能力ハ一般ノ不能
力ニレテ此處ニハ入ラサルナリ
法律上ニ於テ禁ヤサル能力アル者ハ誰レニテ
モ契約ヲ結フトヲ得ルナリ
第一千百二十四條 契約ヲ結フトヲ得サル者ハ

幼者
治産ノ禁ヲ受ケレ者
別段法律ニ定メタル場合ニ於テハ婚姻ヲ結
ビタル婦
其他總テ法律ニテ或ル契約ヲ結フヘカラサ
ルノ禁ヲ受ケレ者
前一項ハ一般ノ不能力者ヲ説ク此他更ニ二者
ヲ加ヘサルヲ得ス
浪費者○治産ノ禁ヲ受ケスト雖モ狂院中ニ入
ル者

幼者トノミ記シテハ未タ言ヒ盡サ、ルカ如シ
然レモ幼者ト言ヘハ二十一歳以下ノ者ト知
ルヘレ

幼者ニニツノ區別アリ

後見ヲ免カレタル者○未タ後見ヲ免カレサル
者

後見ヲ免カレタル幼者ハ或ル契約ハ自カラ結

ブトヲ得ル但シ重キ契約ハ親族ノ會議又ハ

キユラトール^ル管財ノ許シテ受クヘシ

後見ヲ免カレサル幼者ハ自ラ契約ヲ為ストヲ

得ス皆ナ後見人ニ於テ管致ス

治産ノ禁ヲ受ケタル者ニニツノ區別アリ

裁判所ヨリ瘋癲人タルノ言渡シテ受ケシ者○

罪ヲ犯レタル者

婚姻ヲ為シタル婦ハ夫ノ許シ又ハ裁判所ノ許

ヲ得タル上ニ非サレハ契約ヲ為ストヲ得ス

但シ遺言狀ヲ以テ遺物ヲ人ニ贈ルノ契約ハ

自カラ為ストヲ得ル之ハ死ニ臨メハ婚ノ解

クル者ト看做ス故ナリ

財産共通ヲ為サ、ル婦ハ夫ノ許シテ受ケスト

雖モ或ル契約ニ於テハ之ヲ為スヲ得ル
 此條ノ第四項ニ法律ニ定メタル場合トハ婚姻
 ノ約束上ニ付テ云フナリ此ノ書キ方宜シ
 カラス改テ左ノ如クスヘシ
 法律上ニ定メタル或ル權利ノ外云々
 婦タル者家資ノ為メニ夫家へ持テ來ル不動産
 ハ其所得ノ權ノミハ夫トニ於テ自由ニスル
 一ヲ得ルトモ其不動産ノ現物ハ自由ニスル
 一ヲ得ス故ニ夫ノ許シアルトモ婦モ亦之ヲ
 自由ニスル一ヲ得ス但シ其所得ヲ以テ金銀

ヲ借ルノ引當ト為ス一ヲ得ル然レモ其所得
 ノ權ヲ他人ニ讓ル一能ハス尤モ動産ハ此限
 ニアラス
 不動産並ニ其所得ノ權ヲ他人ニ讓ル一ヲ禁ス
 ル所以ハ夫ノ壓制ノ為メニ其婦ノ迷惑トナ
 ルヲ防ク法ナリ併シ之ヲ貸ス一ハ為シ得ル
 ナリ
 例ヘハ婦ノ初メテ婚ヲ為ス時親元ヨリ其娘ニ
 所得ノ權ヲ與フル一アリ又ハ不動産ヲ附與
 シテ嫁スル一アレモ其不動産ハ夫ノ物トナ

ストヲ得ス何トナレハ若シ其婦子ナクシテ
 死スル時ハ其不動産ハ親元へ返サ、ルヘカ
 ラサレハナリ
 婚姻ヲ爲シタル婦ヲ不能力者トナセル原因ハ
 一家ニ権カアル者二人アリテハ家政治ラス
 又子ノ生レタル時夫婦ノ内孰レ之ヲ教
 育スルヤ其責任ノ分定ラス故ニ婦ヲ以テ不
 能力者ト爲シタルナリ然ルニ泰西諸國ニテ
 ハ婦ノ權稍盛ニナリタリ一體往昔ハ何事モ
 夫ノ許ヲ受ケサルヲ得サル風習ナリシニ當

今ハ自己ノ物件ナレハ夫ノ許シ又ハ裁判所
 ノ許シヲ受ケスシテ自由ニスルヲアリ是自
 然ノ勢ニシテ法律モ從テ如此シ
 政事家ニテハ男女同權不同權ニ拘ラサルモノ
 ナリ然ルニ當今男女同權ノヲ論スル者ア
 リ是贅論ナリ
 不能力者タル浪費者ハ自分ノ財産ヲ漫リニ費
 耗シ又ハ漫ニ契約ヲナス故ニ裁判所ヨリ命
 シテ相談人ヲ付ケ置ナリ
 不能力者タル瘋癲人ハ久シカラステ痊ユヘ

キ見込ヲ以テ暫時狂院へ入レ治療ヲ爲サシムル者ナリ故ニ治産ノ禁ヲ受ケス併シ入院中ハ治産ノ禁ヲ受ケタル者ト同様ナリ以上ハ一般ノ不能力者ヲ云フ第五項其他總テ云々此所へ入ルハ宜シカラス何トナレハ此項專ラ賣買ノ事ニ關スレハナリ

此項或ル契約云々ハ賣買ノ事ヲ指スニテ例へハ現在審理中ノ訴訟ヲ其裁判官ニテ買フコト能ハサルノ類ナリ故ニ賣買ノ條ノ下ニ入ル

ヲ宜シトス

第一千二百二十五條 幼者治産ノ禁ヲ受ケン者婚姻ヲ結ビタル婦ハ別段法律ニテ定メタル場合ノ外自カラ契約ヲ結フコトヲ得サル旨ヲ申述ヘ其既ニ結ビタル契約ヲ廢棄セント求ムルコトヲ得ス

自カラ契約ヲ結フコトヲ得可キ者ハ己レト契約ヲ結ビタル幼者治産ノ禁ヲ受ケン者婚姻ニタル婦ノ其契約ヲ結フコトヲ得サル旨ヲ申述ヘ其既ニ結ビタル契約ヲ廢棄セント求ムル

トヲ得ス

前項ハ舉ケストモ可ナリ何トナレハ幼者及ヒ
治産ノ禁ヲ受ケレ者婚姻ヲ結ビタル婦等ハ
何レノ場合ニ於テモ契約ヲ結フトヲ得サレ
ハナリ

一般ノ不能力者ハ一般ノ契約ヲ廢棄スルトヲ
得レハ法律ニ定メタル場合ノ外ト云ハスト
モ勿論ノトナリ

此項幼者ノ爲メニ設ケレモノト見做ス時ハ少
シハ用ヲ爲ストアルヘレ何トナレハ幼者ハ

損害ヲ受クレハ契約ヲ廢棄スルトヲ求ムル
トヲ得

他ノ兩不能力者ハ一般ニ何レノ場合ニテモ損
害ノ有無ニ拘ハラズ廢棄ヲ訴フルトヲ得レ
ハナリ

全體此項ハ能力ヨリ不能力ノトニ言ヒ及ヒタ
ルモノナルヲ以テ契約ヲ廢棄スルセサル等
ヲ説ク所ニアラス後ノ所ヘ類舉スルヲ宜シ
トス

後項ハ大切ナル項ナリ

幼者其外ノ者ト結ビタル契約ハ全ク効ナキモ
 ノニアラスト雖モ廢棄スヘキモノトス
 一體能力者ト不能力者ノ契約ハ不能力者ヨリ
 ハ廢棄ヲ訴フルコトヲ得ルト雖モ能力者ヨリ
 廢棄ヲ訴ルコトヲ得サルモノトス
 前項別段法律ニテ定メタル場合ノ外トハ婚姻
 ヲ結ビタル婦ノミニ係ルヤノ如クナレトモ一
 般ニカ、ルナリ
 治産ノ禁ヲ受ケタルモノニ於テハ別段法律ニ
 テ定メタル場合ナキカ如シ

然レモ此説明シハ第五百二條以下ニ詳カナリ
 一體此條ハ幼者以下三ツノ者ハ其契約ノ廢棄
 ヲ訴ルコトヲ得ル但法律ニ於テ云ヤト書ケハ
 了然ナルヘシ
 一般ノ規則ヲ擧ケスレテ唯取除ノ條ノミヲ擧
 ケタルユエ宜シカラサルナリ
 此條ニ就テ説カサルヲ得サル緊要ノコトアリ
 刑ヲ以テ治産ノ禁ヲ受ケタルモノハ此條中ニ
 ハ入ラサルナリ
 施體加辱ノ重刑ヲ受ケタル者ハ別段言渡ヲ受

ケストモ産ヲ治ムルヲ能ハサルモノナリ
 輕罪ナレハ自ラ財産ヲ支配スルヲ得ルト雖
 モ其禁獄中ハ代理人ヲ立テ支配セシムルナ
 リ
 此ノ事ハ法律中ニ記載アラス之ハ立法家ノ論
 ナリ併現地之ヲ用ユルナリ
 刑ノ爲ニ治産ノ禁ヲ受ケタル者ハ契約ノ廢棄
 ヲ求ムルヲ得ス然レトモ之ト契約ヲ結ビ
 シ者ヨリハ刑ヲ受ケタルモノニ對シ契約ヲ
 廢棄スルヲ訴フルヲ得ルナリ如此立テタ

ルハ是亦刑中ノ一部分トス

第三款 契約ノ目的タル定マリシ事物

第一千百二十六條 契約ハ一方ヨリ一方ニ與フ
 可キ物又ハ一方ヨリ一方ニ對シ爲ス可キ事
 或ハ一方ヨリ一方ニ對シ爲スヘカラサル事
 ヲ以テ其目的トス
 契約ノ成リ立ツハ雙方ノ承諾ニアリ其承諾ニ
 ハ物ヲ與ヘ事ヲ爲ス又ハ事ヲ爲サ、ル等ノ
 目的ナカル可カラス此條言フ所是レナリ
 此條未タ言ヒ盡サ、ルヲアリ故ニ之レニ換ニ

ルニ人權物權ヲ組立ツルト消滅スルトノ二
ツヲ以テスルヲ宜シトス

第一物權

是レハ道路通行ノ權 入額所有ノ權

イホデーキノ權

右物權ノ消滅スル事

第二人權

之レハ義務ヲ組立ル事

右義務ノ消滅スル事

此條ヲ左ノ如ク書直ス方宜シカラン

物權並ニ人權ノ義務ヲ組立ル事

物權並ニ人權ノ義務ヲ消滅スル事

本條舉ル所ノ三目ニテハ不足ナリ義務ノ消滅

ノ一目ヲ加ヘサルヲ得ス

或曰爲ス可カラサルノ目中ニ義務消滅ノコトヲ

含有スト此說宜シカラス

第一千百二十七條 物件ヲ借用フル事又ハ物件

ヲ寄有スル事ヲ以テ契約ノ目的ト爲スヲ得

可キヲ猶ホ其物件ヲ以テ契約ノ目的ト爲ス

ヲ得可キカ如クナリトス

此條物權ヲ以テ義務ヲ行フ目的トナスコトヲ舉
クルナリ

條中言フ所ハ人ノ物ヲ借用スル及ヒ入額ヲ得
ル又ハ所有ノ權等是ナリ

寄有スルノ契約トハ常ニハ出來サルコトナリ

例ヘハ失踪ノモノ、財産ヲ假リニ所有トナス

等ハ寄有ノ契約ニ入ルヘキモノ、如シ故ニ

此契約ハ甚タ稀ナルモノトス

第一千二百二十六條同七條ハ削去ルモ可ナリ要ス
ルニ物權ヲ以テ契約ノ目的トナスト云ヘハ

足ルナリ

第一千二百二十八條 賣買ヲ爲スヲ得ヘキ物ニ非

サレハ之ヲ契約ノ目的ト爲スヘカラス

公有地又ハ往來等ノ如キ土地ハ總テ賣ルコトヲ

得ス其土地ヲ管轄スルモノニテモ同様ナリ

例ヘハ萬世橋外ノ廣地ノ如キヲ其管轄人即知

府事ニテ賣拂ヒ其代金ハ政府ノ用ニ供シ取

扱ノ上ニハ聊カ不正ナルコトナクトモ賣ルヘ

カラサルモノヲ賣リタルニエ其契約ハ効ナ

キモノトス

又禁制ノ武器ヲ賣ルモ同様ナリ
又米ヲ外國へ賣ル契約ヲナスニ既ニ其輸出ヲ
禁シテアルトキハ是亦同様ナリ

問 政府未タ外國へ輸出ノ禁ヲ令セサル前ニ
輸出ノ契約ヲナシ其取引期限内ニ政府ノ禁
出テタルトキハ如何

答 其契約ハ廢棄スルナリ其時ハ只政府ヨリ
輸出ヲ禁セラレシユヘ約ノ如クスルヲ能ハ
サル旨ヲ告グルノミニテ廢棄スヘシ

問 内國入ト内國人トノ契約ナレハソレニテ

濟ムヘシ然レトモ外國人ナル片ハ其契約ノ
廢棄トナリタル償ヲ求ムヘキヤ

答 元來政府ヨリ輸出ヲ禁セントスル片ハ其
弊害ナキ爲メ三四ヶ月前ヨリ令ヲ發スヘシ
然レ其時宜ニ因リ急ニ禁スルヲアリ之ハ其
政府ノ特權ナルヲ以テ外國人ト雖モ其契約
廢棄ニ就テ故障ヲ述ヘ又其償ヲ求ムルヲ能
ハス

又此事ニ付テハ政府ニテ其責ヲ負フノ理ナン
何トナレハ一旦輸出ヲ許スト雖モ全國ノ米

ヲ輸出スルノ約ヲナシタルヲナケレハナリ
且全國人民ノ食料ハ備ヘサル可カラサルノ
理アリ輸出ヲ禁スルノ令ヲ出スニ於テハ毫
モ外國人ニ關スルヲナシ

問 前ノ場合ニ於テ既ニ前金ヲ出シタル買主
ノ外國人ヨリ償ヲ求メタルハ如何

答 固ヨリ償ヲ出スニ及ハス畢竟是等ノ事ハ
天災同様ナレハ其前金ヲ受テ取リタルモノ
ヨリ利金ヲ出スニ及ハス又政府ヨリモ償ヲ
ナキハ勿論ナリ

西洋ニテハ米麥輸出ヲ禁スルニハ凶荒トカ何
トカ其禁スル所以ノ道理ヲ付ルヲナリ併レ
道理ヲ付ケルハ義務ニハアラサルナリ
又輸出ヲ禁スルノ令ヲ下ス前ニ國議院ヘ問フ
出スヲアリ

問 輸出ヲ開クト禁スルトハ政府ノ特權ニテ
既ニ開クノ片何時ニテモ之レヲ禁スルノ理
ハ自ラ知レテアルナリ故ニ之カ爲メ外國人
ニ償ヲ出ス可キノ理ナキ旨ヲ以テ防クヲ
得ヘキヤ

答 外國人ヨリ何故ニ輸出ヲ禁シタルヤト問
 難スルノ理ナシ何トナレハ元來政府ニテ契
 約ヲナサレハナリ且政府ハ人民保護ノ義
 務アリ我人民ノ食料ノ不足スルヲ顧ミ外
 國人ノ求メニ應スルノ理ナシ万一彼ヨリ其
 償ヲ求ムル者アラハ漫リニ口舌ヲ費スヲ須
 タス來月ハ饑饉アルヘシト云テ拒絕スルモ
 可ナリ

若シ右ニ反シテ我國饑饉ニテ輸出ヲ禁シタル
 片外國人ヨリ輸入ノ契約ヲナスニ其年案外

ノ豐稔ニテ政府ヨリ輸出ヲ許シタル片ハ内
 國人ノ損失トナルヲアルヘシ其時ハ彼我ノ
 別アリト雖モ前同様ノ理ナリ

問 地方官ニテ官米ヲ輸出スル契約書ハ印ヲ
 押シタル時ハ政府ノ契約トナシテ遂クヘキ
 ナ

答 政府ニテ爲シタル契約ハ避クルヲ能ハス
 故ニ遂ケサルヲ得サルナリ併シ左様ノハ
 ナキ筈ナリ

佛國ニテハ政府ニテ賣買スルヲハ甚デアシキ

トリス併シ日本政府ニテ米ヲ賣ルトハ止ム
 ヲ得サルトアルヘシ何トナレハ日本政府ニ
 テハ物件ヲ以テ貢租トナシ其物件多分アリ
 テ賣捌ヲナサザルヲ得サレハナリ佛國ニテ
 ハ其貢租多クハ金納ユエ賣ルヘキ物件ナレ
 問 右政府ニテ賣買スルヲ以テ惡シト爲スハ
 經濟家ノ論ナリヤ

答 經濟論ニテモ道理ニテモ惡シ併シ其品柄
 ニヨリ政府ニテ賣買スルトアリ人民ニ賣買
 セレノテ保護ノ付カサルモノ、ミナリ

例ハハ火藥ノ如キハ政府ニテ製シ用ユ但シ銃
 獵等ニハ賣ルナリ
 又烟草モ政府ニテ製シ政府ニテ賣ルナリ是ハ
 隠レ易キモノニテ收税ノ行届キ兼ヌル故ナ
 リ
 右等ハ政府ニテ賣買ヲ爲ス方一般ノ廣益トナ
 ルナリ
 問 保護税ヲ廢スルト廢セサルトノ説何レカ
 是ナルヤ
 答 賣買自由ハ經濟家ヨリ見テモ自然ノ道理

上ヨリ見テモ宜ナリ
 曾テ佛ト英ト自由ノ賣買ヲナシタル片英ヨリ
 綿ヲ輸入シタル爲メニ佛ニテ綿ノ價格外下
 落シタルヲアリ其下落ニ因テ一二ノ製造家
 ハ迷惑シタルトモ衆多ノ人民ハ安値ノ品ヲ
 買得タルユエ大イニ利益トナリタリ尤箇様
 ノトキニ方テハ其製造家ハ別ニ有益ノ交易
 品ヲ發明スレハソレニテ宜シ併シ其品ヲ發
 明スルハ甚々難キナリ何レニモ自由ノ賣
 買ハ良法ニ相違ナシ

本條賣買ヲナスヲ得ヘキ物ニアラサレハ云々
 此條ハ法律ヲ審明スル者ニテハ其道理ヲ狹
 ク見ル可カラス何トナレハ内國ニテハ禁ヒ
 スシテ外國ニハ禁スルヲアリ又賣ルヲ禁
 シテ貸スヲ禁セサル等ノヲアレハナリ
 本條ニ付前文ノ説明レ而已ニテハ未タ盡サ
 ル所アリ尚其餘意ヲ少シク説明サントス
 本條ニ賣買トノミ云トキハ意味狹クシテ只商
 法ニ關スルヲノミニ聞ユ
 然レモ人ノ手ニテ取扱ヒ得ル物ハ契約ノ目的

ト為スヲ得ル
 故ニ此所ニテハ商賣上ニテ禁セラレサルモノ
 ハ契約ノ目的トナスヲ得ルト書クハ早ク
 解シ得ルナリ
 本文ヲ左ノ如ク改ムル方ヨロシ
 人民互ヒノ契約ニ付テ為ス可カラサルモノア
 リ夫レハ別段ノ法律ニ記載シテアルナリ
 第一賣買ヲナスヲ得サルモノハ即チ道路鐵
 道、河、鑛山等ナリ
 鑛山等ハ開抗スルヲ得ルト雖モ年限ヲ以テ

官許ヲ受クルモノナリ
 博覽會ニ陳列シタル物ハ石像或ハ額面其他一
 品ト雖モ賣ルヲ得サルナリ
 軍艦大砲等ノ武器ヲ他ヨリ買入レ不用ノ節ハ
 賣ルヲモアレトモ皆チ政府ニテ賣買シ人民
 互ニ其契約ヲナスヲ得ス
 舊法ニテハ未タ熟セサル青キ麥ヲ賣買スルヲ
 得ス收納四十日前ナレハ宜シトナシタリ
 何トナレハ之レニ付テ弊害ノ生スルヲアレ
 ハナリ

火藥モ賣買スルヲ禁ス尤モ別段ノ場合ニ於テ許スヲアリ獵等ニ用フル丈

春畫等其他風俗ニ関スル畫圖モ賣買スルヲ禁ス

右ノ物品ハ法律ニ於テ賣買ヲ禁ス萬一其契約ヲ爲ス時ハ廢棄トナルヘキモノ故ニ其契約ヲ遂ケサルモ之ヲ訴フルヲ得ス又損害ノ償ヲ訴フルヲ得サルナリ

博覽會ニ陳列シタル古器又ハ額面等ヲ賣主ヨリ博覽會ノ品ニテハ非スト云ヒ買主モ亦カ

ソレニ非フト思ヒテ買入レタリトモ其後博覽會ノ管主人来リテ是レハ博覽會ノ品ナリ返スヘシト云フ時ハ其品ヲ返サ、ルヲ得ス併シ謂レナク人ニ金ヲ與ヘルノ理ナシ故ニ初メ賣リタルモノヨリ代金ヲ取戻シ并セテ其損失ノ償ヲモ取ヘキナリ尤モ其賣主博覽會ヨリ持来リタルモノナラハ盜贓ナリ若シ賣主轉展シテ其情ヲ知ラサル者ハ罰ナシ併シ其記號ヲ削リテ賣リタル者ハ夫レ文ケノ落度アリ

右等ヲ民事ノ罪ト云フ
 又食物ヲ欺テ賣リタル時ハ健康ヲ害スルヲ以
 テ刑事ニ訴フ又秤量ヲ欺テ賣ル等モ直チニ
 刑事ニ訴フルナリ
 又製作物等ノ註文違ハ刑事ニ訴ハサルナリ
 若シ日本ニテ牛乳ヲ賣ルヘキニ米ノ汁ノ偽品
 ヲ賣リ或ハ酒ヲ賣ルヘキニ他ノ偽品ヲ賣リ
 タル等ハ皆チ刑事ニ属スルナリ 茶ニ柳葉ヲ
 入ル等モ同
 人ヲ欺クニ例ハ博覽會ノ古器等ハ買主ニ

出所ヲ知ル₁甚々難シ故ニ裁判官ニテ其償
 ヲ取ルノミニテ刑事ニ渡サスニテ止ムナリ
 例ハ官ノ建造物ヲ他人ヨリ賣ルニ元ヨリ官
 ノモノナレハ其建造物ヲ返サ、ル可カラズ
 其時ハ代金ヲ返スト雖モ償金ハ場合ニ依リ
 裁判官ニテハ許サ、ル₁アリ何トナレハ官
 ノ建造物ハ誰ニテモ知レ易キモノニエ之ヲ
 買フモ罪アリト見做スニエナリ
 例ハハ風俗ニ關スルモノニテ契約ヲナスヘカ
 ラサル品ナレハ其契約ヲ遂ケストモ訴フル

一能ハス又其償ヲ訴フルヲモ得ス若シ其
 契約ヲ遂ケタル上ニハ再モ品ヲ戻シ代金ヲ
 取返スヲ得ス
 右ニ付前金ヲ渡シタル上違約トナルモ之レヲ
 訴フルヲ得ス
 尤モ右等ノ契約ハ外ニ仕様アリ則チ其證書ニ
 何々ノ前金ト其譯ケテ書カス只其金員ノミ
 ヲ證シ置キ之レヲ以テ借シ金ト云做シ受取
 ルヲ訴フルナリ其時ハ賣主ニテ其事實ヲ
 述フルヲ得ス

裁判官ニテハ其一証アルヲ以テ其金ヲ返サシ
 ム
 此訴訟ヲ爲シタル時万一賣主ニテ此金ハ全ク
 借リタルニアラス春画ヲ賣ル契約ナリト云
 ヒタル時ハ其訴訟ヲ取揚ケサルナリ
 問 其時ハ賣主ニ刑ヲ加フヘキナリ
 答 刑事ニハ處セス但シ店前ニテ公然賣リタ
 ル時ハ刑事ニ處ス
 問 然ラハ人ヲ欺キ得レハ夫レニテ濟ムナリ
 人ニ惡事ヲ遂ケシムルニアラスヤ

答 公然ト賣リ公然ト賣ラン爲メニ作ル時ハ
 刑事ニ處スヘシト雖モ密ヤニナス者ハ政府
 ニテ搜索スルヲ得ス且或ハ賣品ニハアラス
 玩具トシテ持テ居ル者モ有ルヘシソレマテ
 刑事ニ處セサルヲ得サルノ勢ナリ故ニ政府
 ニテハ隱事ヲ評索スルヲナシルヲナシ
 問 隱事ハ左モアルヘシ既ニ訴ヘ出タル上借
 リ金ニハアラス春画ヲ賣リタリト云ハ、既
 ニ檢職ノ耳ニモ入ルヘシ之ヲ許スハ如何
 答 元ヨリ契約上ニ就テハ罪ナシ其人ノ目前

ニ春畫ヲ出サ、レハ罪ヲ擬セス若シ其品ヲ
 目前ニ出シ之ヲ賣ル契約ナリト云ヒタル時
 ハ其品ヲ破棄シ其人ニ罪ヲ科ス何トナレハ
 其契約ノ惡シキニアラスレテ其目的タルモ
 ノ、惡シキ爲メナリ
 問 武器等ハ如何
 答 武器ハ人民ノ有スルヲ禁シテアルモノ
 ナリ春畫ハ之ヲ有スルノ禁ナシ人ノ目前ニ
 出スヲ禁スルモノナル故此ノ如キノ差違アリ

兵隊ノ持ツ銃ヲ家ニ置ク時ハ直チニ罪アリト
 ス但シ獵銃ハ苦シカラス
 武器ノ害ト春畫ノ害ト何レカ大ナルト云フ時
 ハ武器ヲ持ツ方ノ害ヲ大ナリトス故ニ其罪
 ニ輕重アルナリ
 戰銃ヲ持ツ者ヲ認メタル時ハ何故ニ持ツト聞
 クトナシ直チニ之ヲ罪ニ科ス
 春畫ナトハ一葉アルヲ見テ其外ニモアルヘシ
 ト詰問スルトナシ
 春畫等ニ付テハ契約ヲ遂ケサルヲ訴フルトテ

得ス一旦渡シタル金ヲ取戻ストテ得サルハ
 餘程六ケ敷トナリ
 羅馬ニ其例アリ
 例ヘハ男ト女ト密約ヲナスニ女其約ヲ遂ケタ
 ルニ男其代金ヲ渡サストテ訴フルトテ得ス
 又男ヨリ先キニ其代金ヲ渡シ女ニテ其約ヲ
 遂ケサル時モ之ヲ訴フルトテ得ス故ニ人ノ
 面目ニ関スルノ訴ハナクストテ得ストノ律ア
 リタリ
 縱令是レ等ノ例アリトモ訴フルトハ甚タ難キ

トナリ裁判官ニテモ容易ニハ罔ヒラレサルナリ

問 鐵道ヲ賣買スルヲ得サレハ佛ニテ禁令アル故カ又ハ自然ノ法ヨリ出ツルカ

答 鐵道會社ノ法ハ種々ノ結立アリト雖モ公ケニ論スル時ハ一般ノ道路ト見ルナリ

政府ニテハ其土地ヲ貸シ會社ニテハ其利益ヲ得ルモノトス

故ニ會社ニテ其鐵道ヲ賣買スル契約ノ目的トナスヲ得ス

何トナレハ既ニ許可ヲ得タル會社ニテ他人ノ讓ルキハ又更ニ其許可ヲ受ケサルヲ得サレハナリ

問 或ル鐵道ニ於テ永世政府ニテハ取り揚ケスト契約ヲナシタルモノアリ之ハ其會社ノ意ニ適スルキ金員ヲ出サ、レハ其鐵道ヲ取揚クルヲ得サル哉

答 其契約アルモノハ假令其意ニ滿ツルノ金員ヲ出スト雖モ永世取揚クルヲ得ス但シ會社ニテ規則ニ背キタルトキハ取揚ケ

テ苦シカラス

問 海ヲ填メテ陸トナシタルモノアリ其地ノ
租税ハ永世免ヌルトノ契約ヲナシタリ之モ
一旦契約ヲナシタル上ハ其契約ヲ遂ケサル
ヲ得サルヤ

答 元來永世租税ヲ免ルストハ誤リナリ大抵
其所得ノ利益ヲ取揚タリト思フトキハ之ヲ
廢セサルヲ得サルナリ

元來政府ニテ一部分無税ノ地ヲ置ク時ハ其他
ノ地ノ者ニテソレ丈ケ餘分ノ税ヲ出サ、ル

ヲ得ヌ是レ政府ニテ之ヲ免ヌ可カラサルノ
理ナリ之ヲ廢スルニハ法律ヲ改メテ何年ヨ
リ以後其無税ノ地ハ更ニ税ヲ科スルトノ令
ヲ出ス而シテ其契約ハ消滅スルナリ
裁判官ハ定マリタル法律ノ無キ時ニアラサレ
ハ自然ノ法ヲ用ニルヲ得ヌ
習慣法ハ自然ノ法ニアラス即チ定法ナリ
外國人ノ日本ノ法律ヲ嫌フモノハ第一拷問ナ
リ外國人ヲ日本法律ニ引キ付ケント欲スル
時ハ必ラス拷問ヲ廢セサル可カラス

第千百二十九條 契約ノ目的ト爲ス物ハ其種類ノ定マリタルコトヲ必要トス

契約ノ目的ト爲ス物ノ分量ヲ後ニ定ムルコトヲ得ヘキ時ハ必シモ預メ之ヲ定ムルニ及ハス

契約ノ目的ト爲ス物ハ賣買品トノミ書レテハ充分ナラス米ナラハ何表何斗家ナラハ何町ノ何番地、地所ナラハ何坪ト充分ニ其高ヲ極メサルヲ得ス

此原書本文中ニ目的物ハ少ナクトモ其種類云々トアリ

種類ト云フコトヲニツニ分ツ例ハ馬ト云ヘハ何ノ所ノ産ニテ年ハ何年ト定メサル可カラス

其二ツノ分ケ方ハ馬ヲ以テ例ヲ舉クレハ一馬

二何國産何毛何歳

諸品トモ種類ハ都テニツニ分ツナリ

其馬ニ運送馬トナスモノアリ騎馬トナスモノアリ夫レ々違ヒアリ

然ルニ只馬ト而已ニテ契約ヲナレタリトモ裁

判官ニ於テ之ヲ直ニ廢棄スルニアラス其馬
ヲ用ユ可キ身元アル者ナル時ハ其契約ノ効
アリト爲スナリ

又品物ノ分量ヲ定ムヘキトナレトモ其分量ヲ
初メニ定メズ後ニ至リ定メ得ヘキ時ハ其契
約ノ効ヲ生ス

例ヘハ米ノ種ヲ買フニ初メニ何升ト定メスト
モ一町歩ニ蒔ク式ケト云フ時ハ其蒔キタル
後ニ其分量ヲ計リ知ルヘキナリ故ニ契約ノ
効ヲ生ス

例ヘハ地所アリ其地所ニ家ヲ建築スルニ其家
ノ畫圖面ヲ以テ契約スレハ初メニ材木ノ數
ヲ定メストモ落成ノ後ニ至リ其數ハ計リ知
ルヘキナリ故ニ契約ノ効ヲ生ス
惣テ大抵目的ノ付クトニアラサレハ契約ノ効
ナキナリ

本條前項ハ種類ノトヲ云フ
後項ハ分量ヲ後ニ定ムルトヲ得ヘキ時ハ契約
ノ目的ヲ生スルト雖モ之ニ反シ後ニ定ムル
トヲ得サルノ物ヲ初メニ定メサレハ其契約

ノ効ナシト云フ
第一千百三十條 将来ノ事物ハ亦之ヲ契約ノ目的ト爲スヲ得可シ
然レ未タ遺物相續ヲ始メサル財産ハ縱令ヒ其財産所有者ノ承諾アリト雖モ相續ヲ爲ス可キ者預メ之ヲ拋棄シ又ハ其相續ノ事ニ付キ預メ他人ト契約ヲ爲ス可カラス
前項未来ノモノヲ以テ契約ノ目的トナスヲ得ルハ不慥ナル様ナレモ必ラス其目的タル物件ヲ得ルノ權アルモノヲ云フナリ

例ヘハ畠ノ麥ヲ賣ルニ後ニハ必ラス收納トナル慥ナルモノナリ故ニ契約ノ目的トナスヲ得ルナリ若シ天災即チ水難ニ罹リ畠ノ麥ヲ流失シ一粒モ收納セサル時ハ其契約ヲ以テ全シトセス故ニ受取タル代金アラハ之ヲ返サ、ル可カラス万一其一部分ノ麥存在スル時ハ賣買上ノ契約ニ於テ其効ノ得失ニ關係ナシトス
此畠ノ收納ヲ買フト云フ時ハ天災アリテ一粒モ收納セサル時ハ其契約ニハ効ナシ然レモ

若レ此畠ノ麥ヲ豐凶トモニ買フト云フ時ハ
 是僥倖ヲ買フナリ然ノ事ヲ云フ偶
 此ニツノ場合ヲ裁判官ニテ見定ムルト甚々難
 シ
 其代價甚々廉ナル時ハ收納ヲ買フニアラス僥
 倖ヲ買ヒタリト見定ムルナリ
 例ハハ此畠一坪ヲ何程ニ買フト有ル時ハ裁判
 官ニテ疑ヒヲ容レズ全ク收納ヲ買ヒタリト
 ナス
 第二項ハ未來ノ物ヲ目的トシテ契約ヲ爲シ得

ヘシト云フノ取除ケナリ
 未タ死セサル遺物相續ハ縱令其者ノ承諾アル
 トモ契約ノ目的ト爲スヘカラス
 此取除ケノ起リシハ
 例ハハ人ノ未タ死セサル内ニ相續人ヨリ其財
 産ヲ抵當トナス時ハ其子又ハ相續人ニテ人
 ノ死ヲ待ツニ等シ或ハ先方ニテ抵當トシテ
 金ヲ貸シタル者モ亦タ其人ノ死ヲ待ツニ等
 シ之ニ由テ風俗ヲ傷シ安寧ヲ害スルニ至ル
 ナリ

之ハ道德上ノ論ナリ

元来其遺物ハ何程アルヤ預メ知ル可カラス故
ニ目的トナスヲ得スト定メタルモノナリ
問 限月相場等ハ未来ノ物ヲ以テ目的トナス
ヲ得可キ哉

答 慥カニ此條ニ入ルトハ定メ難キト思フナ
リ

問 限月相場ハ一ヶ月ヲ限リトナシ米ヲ買フ
契約ヲナス其米ハ見ルヲ得サル法而已ナ
ラス何レノ倉ニアルヲ云ハス元来ナキ米

ナリ只其相場ノ差ヒニテ損益アリ例ヘハ博
奕ナリ然ルニ經濟家ノ論ニハ敢テ害アルニ
アラス若シ此事ヲ禁スレハ自ラ融通ヲ妨
クヘシ故ニ其賣買ヲ爲ス時ハ必ラス現物ハ
何レノ地ヨリカ出テ来ルモノナリト云フ此
利害得失如何

答 之ハ此條ニハ少シモ關係ナシトス何トナ
レハ米ハ日本ニハ有ルモノニテ其高ヲ得ヘ
キモノナリ然シ買主モ其米ヲ買得可キノ高
ニアラス又賣主モ其賣リ得ヘキノ高ニアラ

スシテ之ヲ賣買スルハ即チ博奕ナリ日本ニ
 テ博奕ヲ禁スル以上ハ之モ亦禁スヘキナリ
 一 体空米相場ハ無カル可キモノナリト雖モ之
 ヲ買得ヘキ者ナレハ可ナリ五十圓ノ身代ニ
 テ千圓ノ米ヲ買ハントスルハ博奕ナリ禁ス
 ヘキナリ

佛國ニテハ此ノ如キモノハ裁判所へ訴へ出ツ
 ルヲ禁スルナリ

縱令ヒ十万石ノ米ヲ買ヒ得ヘキノ身代ナリト
 モ平生米ヲ賣買セサル者ナル時ハ即チ博奕

ナリトス

此ノ如キ契約ハ甚ク害アリ商法ノ融通ニナル
 ヘキモノニアラス

何トナレハ米商ニ於テ相場ノ懸引アルカ爲メ
 ニ騰貴ノ害ヲ生シ人民ニテハ自ラ高價ノ米
 ヲ食フニ至ルヘシ

是等ハ全ク原由ナキ契約ナリ下條ヲ熟覽スレ
 ハ了解スヘシ

列ヘハ一石ノ米ヲ五圓ニテ本月末ニ買ハント
 云フ時其月末ニ至リ六圓トナル時ハ一圓ノ

差ヲ以テ買方ニテ取ラサルヲ得ス若シ四圓トナルトキハ又其一圓ヲ賣方ニテ取ラサルヲ得ス

其一圓ノ差ヲ以テ一方ニテ得ルハ何ノ為メソヤ聊カ原由ナキトナリ

例ハハ骨牌ヲ蓋フテ一カ出タル時ハ金ヲ遣ルヘシ又ハ錢ヲ撒テ裏カ出タル時ハ金ヲ遣ルヘシトノ契約ハ何ノ原由ナリヤ固ヨリ原由ナキ譯ケナリ故ニ其為メノ禁ヲ法律ニテ定メナシトモ原由ナキ契約ナルヲ以テ廢毀シ

テ可ナリ故ニ千百三十條ニハ少シモ關係セサルナリ

第四款 契約ノ原由

第千百三十一條 全ク原由ナキ契約ノ義務又ハ詐偽ノ原由及ヒ法律ニ背キタル原由アル契約ノ義務ハ其効ナカル可シ

第千百三十二條 契約ノ原由ヲ契約書ニ記スルヲナシト雖モ其契約ノ効アリトス

第千百三十三條 別段法律上ニテ禁シタル契約ノ原由及ヒ人民ノ風儀又ハ國ノ安寧ヲ害

ス可キ契約ノ原由ハ之ヲ法ニ背キタルモノト爲ス可シ
 千百三十一條ハ三ツノ區別ヲ云フナリ
 第一ハ全ク原由ナキモノ第二ハ原由アレドモ詐偽ノ原由第三ハ原由アレドモ法律ニ背キタル不正ノ原由ナリ
 全ク原由ナキト云フコトハ只其外見而已ニテハ其原由無キトハ定メ難キモノナリ即チ限月相場ノ如キハ全ク原由ナキト定ムルヲ甚メ難シ

賣買ノ契約ヲナスニハ一方ハ米ノ主トナリ一方ハ金ノ主トナルノ主意アリ又其貸借ニハ其貸借ノ主意アリ
 博奕ノ如キハ右等ノ主意ヲ有セス故ニ之ヲ以テ限月相場ハ博奕ト見做スナリ
 詐偽ノ原由ハ外見ニ於テ原由有ルヲナリ例ハ甲ヨリ乙ヘ遺物ヲ遣ラント契約シタル後ニ於テ已ニ其契約ヲ廢シタリ然ルニ甲ノ子タル丙ニテ其父タル甲ノ已ニ其契約ヲ廢シタルヲ知ラスシテ乙ヘ遺物トシテ遣ルヘ

キ家屋ノ代リニ物品ヲ遣ラント契約スル時
ハ其契約スルノ原由ハ有レテ其實ハ原由ナ
クシテ全ク詐偽ナリ

又甲ヨリ乙ヘ對シ其父ノ未タ死セサル前ニ幾
許ノ金ヲ貸シタリ故ニ其代リトシテ家屋ヲ
以テ償フヘシト詠ヘタリ其時乙ニテハ家屋
ヲ遣ルコトヲ得ス之ニ代ヘテ他ノ物ヲ遣ルヘ
シト契約ヲナシタリ然ルニ其後其父ノ既ニ
金ヲ返償シタル證書ヲ見出シタリ是ニ於テ
其物ヲ遣ルノ原由ハ全ク無キモノト決セリ

何トナレハ固ヨリ其原由ハ詐偽ナレハナリ

第一ノモノハ外見ニ於テハ全クナシ

第二ノモノハ外見ニ於テハ有レテ是レ詐偽ノ

原由ナリ

第三ノモノハ法律ニ背キタル不正ノ原由ナリ

例ヘハ人ヲ殺セハ金ヲ遣ルヘシトノ契約ヲ爲

ス是レハ不正ノ原由ナリ若シ其不正ノ契約

ニテ前キニ金ヲ遣リタル上其者ハ人ヲ殺サ

スシテ遁逃シタリ其時ハ其者ニ對シ契約ヲ

遂ケサルヲ以テ訴フルコトヲ得ス

千百二十二條ハ此所ニ在ルヘキ者ニアラス契
 約ノ原由ハ之ヲ其契約書中ニ必ス記スルニ
 及ハス然レ切手ニハ何々ノ爲メニ此金ヲ遣
 ルト記セサルヲ得ス其譯ハ畢竟証據ノ爲メ
 ニ記スヘキナリ然ラハ此條ハ證據ノ條ヘ入
 レルヘシ

例ヘハ人ニ金ヲ遣ル可キ證據ニ其原由ヲ記セ
 スシテ訴訟トナル時ハ證據ヲ取調ヘサルヲ
 得サルナリ故ニ此條ハ証據ノ條ニ入ル方宜
 シ其證據ノコトハ後章ニ有リ其條章ニ付テ

説明スヘシ

千百三十三條ハ別ニ講釋ヲ加フルニ及ハス不
 正ノ原由トハ法律上ニ於テ禁シタル契約ノ
 原由及ヒ國ノ風儀國ノ安寧ニ關スルノ三件
 ヲ云フナリ

第三章 契約ノ義務ノ効

第一款 惣規則

第千百三十四條 正シク結ヒタル契約ハ之ヲ
 結ビシ雙方ノ者ノ爲メ法律ニ等シキ力アリ
 トス

契約ハ之ヲ結ビシ双方ノ者ノ承諾又ハ法律上ニテ允許シタル原由アルニ非サレハ之ヲ取消ス可カラス

雙方ノ者ハ共ニ其契約ヲ正實ニ執行フ可シ正シク結ビタル契約トハ之ヲ反体シテ云ヘハ不能カノ者又ハ法律上ニテ免許セサル者ハ

正シク結ビタルトハ云ヒ難シ是等ノトニアラサルモノヲ正シク結ビタルト云フ

ボ⁷アツナード⁷案スルニ民法前加篇第六條ニ互ニ契約ヲ結フニ風俗ニ關スル契約ヲ結フ

トヲ得ストアルモノヲ此處ヘ入レルヘシト思フナリ

國ノ安寧ヲ害スルト云フハ例ヘハ民事ナレハ五分ノ利息商事ナレハ六分ノ利息ト定メ其以上ハ即チ安寧ヲ害スルト見テ之ヲ拂ハスレテ可ナリト爲ス

或ハ互ニ盜賊ヲ爲ストヲ約シ又ハ宝貨ヲ偽造スルトヲ約スル等是レナリ

風俗ニ關スルト云フハ至ツテ小事ナリ例ヘハ婚禮ヲ爲サスレテ男女同居レ其男ヨリ一年

ニ何程ノ養料ヲ贈ラント云フヲ契約スル如キ是レナリ

例ヘハ出版スルモノ又ハ書肆等ニテ春畫ノ類ヲ賣買レ又ハ印刷スルヲ契約スル如キ是レナリ

問 民事ハ五分商事ハ六分ト其利息ノ制限ヲ定メタルニ八分又ハ九分ト爲シタルトキ其制限ノ以上ハ之ヲ除キテ可ナリト云然レモ目今日本ニテハ利息ノ制限ヲ解キタリ一休其利息ノ高ノ制限アルヲ以テ道理ニ適スル

ト爲スハ何ノ故ナルヤ

答 右ニ付キニツノ道理アリ

第一 法律ニ依リテ五分六分ト制限ヲ定メタルハ高利ニ追ハレテ返シ能ハサルヲ顧ミ負債者ヲ保護スル爲メニ立テタルモノナリ
第二 經濟家ノ論ニテハ右ハ法律ニ入ルヘキモノニアラス多數ノ金ヲ要スルモノハ何程ノ利息ヲ出ストモ借ラサルヲ得サルモノアルヘシトノ論アリ

佛國ノ法律ニ於テニツノ不都合ナルヲアリ第

一ニハ非常ニ金ノ入用ナルニ其金アラサレ
 ハ身代限トナルヘキトキ利息ノ安キ為メ貸
 スモノナク又高利トナセハ法律ニ背ク仍テ
 終ニ借ルコトヲ得スシテ身代限リト為ルコト
 リ
 時ニヨリテハ高利ノ金ヲ借リテ一時商業ヲ取
 續クコトアリ

第二ノ不都合ハ

例ヘハ五百圓ノ金ヲ借ルニ何程ノ利息ト為ル
 其時ハ千圓ノ證書ヲ作り利息ヲ現數ヨリ倍

シテ取ルコトアリ然ラハ法律ノアル詮ナシ故
 ニ貸主借主ノ自由ニ任カスル方ヲ可ナリト
 為ス然ラハ自ラ貸主モ多分アルヘシ
 金ノ本額ヲ少クシテ證書面ヲ二倍トナシ五分
 ノ利息トナルヘキニ一割ノ利息ヲ取ル如キ
 ハ其法律ヲ立タル詮ナシ
 ホ¹アソナト案スルニ雙方自由ニスル方宜シ
 例ヘハ二割ノ利息ニテ借リタリトモ三割ノ
 利息ヲ得レハ一割ハ殘ル譯ケナリ
 自由ニ任スルトキハ自由ノ利息ヲ取テ貸スナ

リ財産ノナキモノハ其利息ヲ高ク取ルナ
 リ何トナレハ元金ノ返辨モ甚タ六ヶ敷キ故
 ニ其利息ヲ以テ元金ヲ補償スルヲ計レハ
 ナリ又財産ノアル者ハ其利息薄シ且ツ抵
 當物ヲ取レハ猶又薄シ若シ自由ニ任セス利
 息ノ分割ヲ束縛シテ五分六分ト定ルハ財
 産ナキ者ニ借ス者ナシ假令之ヲ借ストモ損
 失相償フヲ得ス

貨幣ハ經濟家ノ論ニテハ一ツノ商物ト見做ス
 ナリ故ニ時ニ仍リ其融通スル所ノ多少ヲ以

テ高低スルヲアリ

例ハ國ニ戰爭アリ其時ハ富者ハ時勢ヲ危ニ

各其金銀ヲ深ク藏メテ出サス故ニ民間ニ於
 テ金銀ノ不足ト為ルナリ其時ハ高利ニアラ
 サレハ借リルヲ得ス然レ平時ハ一般ニ利
 息ノ安キモノナリ

各國何レニ於テモ金銀ノ融通ニハ必ス多少ノ
 高低アルモノナリ然レ夫カ爲メ其時々ニ此
 法律ヲ改正スルヲ能ハサルモノナリ

歐洲各國ハ惣テ利息ヲ自由ニスルヲト爲リタ

リ四分五裂ノ「イスパニヤ」殊ニ天主教ヲ尊奉
 スル「イタリヤ」ノ如キ之ヲ一統スルヲ能ハサ
 ル國ニ於テモ皆ナリ足ヲ自由ニ任カセタリ
 獨リ我佛國ノミ未タ此自由ヲ許サス
 利息ノ高ヲ極メタルハ宗教ヨリ起リタルナリ
 我カ佛國ニテハ中古ハ一分ノ利ヲ付ゲテモ
 金ヲ貸ス「ト」得サリレナリ
 然レ利息ハ自由ニ任スル方宜シト云フト雖モ
 法律ニ其分割ヲ定メ置クモ差支ナシ
 例ハ訴訟ノ起リタル時證書ニ利息ノ高ヲ記

載ナキトキハ此法律ニ定メタル高ヲ以テ裁
 判スルナリ
 或ル國ニハ法律ニテ定メタル利息ナシ之モ亦
 宜シト思フナリ
 之ハ事々物々ニ付裁判官ヲシテ其見込ミヲ以
 テ制限ヲ立テシムル譯ナリ
 其分割ハ其時ノ相場ヲ「バンク」ニ謀リテ定ムル
 ナリ尤モ公ノ「バンク」ニアラサレハ之ヲ謀ル
 可カラサルナリ
 佛國ニ於テ此事ニ付一奇談アリ

バンクデヲランズ佛國銀行アリ千八百五十八
年以來歇ト思フ此ノバンクニ於テ金ヲ貸ス
ニ其利息ノ定限ナシ此バンクノ評議官ニテ
其分割ヲ定ムルナリ
之ヲ免許シタル所以ハ人民ノ難澁セサル爲メ
ニ爲シタルモノナリ
今日迄ハ九分ヨリ高ク貸シタルトナシ然シ事
ニヨレバ三分ニ貸シタルトモアリ
一度ヒ法律ニ依テ結ヒタル約束ハ之ヲ廢スル
ト能ハスト雖モ雙方承諾ノ上ナラハ之ヲ廢

シ又ハ之ヲ變シテ苦シカラス
又或ハ一方ノ者ノ承諾ノミニ之ヲ廢スルト
ヲ得ルナリ
例ヘハ代理ヲ人ニ托ス其托ヲ受ケタル者ハ大
切ニ之ヲ勤メサル可カラス併レ其托シタル
者ハ今日ニモ之ヲ止ント欲スルト勝手ナリ
何トナレハ托シタル者ノ利益ニシテ托サレ
タル者ノ利益ニアラサレハナリ
例ヘハ人ニ物ヲ預ケタルニ一ケ年ノ約束ナリ
トモ之ヲ其期限前ニ取返ストヲ得ルナリ何

トナレハ預ケ人ノ利益ニシテ預カリ人ノ利益ニアラサレハナリ

例へハ人ニ物ヲユガ¹ジユスル¹ヲ許スニ何時取返ストモ苦レカラス何トナレハユガ¹ジユスル人ノ便利ニシテユガ¹ジユヲ受クル人ノ便利ニアラサレハナリ

其道理ハ何トナレハ畢竟其物ハ我カ便利ノモノナリ我カ不便利ヲ爲シテ長ク預ケ又ハユガ¹ジレユセシマルニ及ハサルナリ之レハ一方ノ者ノ便利ナル故ナリ

例へハ家ノ貸借等ハ雙方ノ便利ナル故双方ノ承諾ナケレハ之ヲ廢スル¹ヲ得ス

契約ノ原因ノ宜シカラサルモノ例へハ不能力又ハ錯誤不承諾等ノ契約ハ裁判所ノ裁判ナクトモ之ヲ廢スル¹ヲ得ルナリ

第三項双方ノ者ハ共ニ云々

此意味ハ餘リニ曖昧ナリ何トナレハ其契約書中ノ文字而已ニテ正實トハ為シ難シ文字ニハ我カ意ヲ書キ盡サレサルモノナリ仍テ其契約ノ意味ノアル所ニ從テ執行フヘキナ

其例ヲ舉ケン
 例へハ家ノ貸借ヲ爲スニ其家ハ甚キ破損ナケ
 レル之ヲ貸ス時ニハ其修繕ヲ加ヘテ貸スヘ
 シト云フニ貸主ハ大抵ニ修繕ヲ爲ス積リナ
 レル借主ハ十分ニ修繕ヲ爲スト心得タルト
 キ等ハ裁判官ニテ之ヲ折衷シテ裁判スル如
 キ之ナリ又金ヲ貸スニ都合ノ好キ時之ヲ返
 スヘント約スルアリ然ル借主ハ都合ノ好
 キトハナキモノナリ故ニ此場合ニ於テ貸主

ヨリ翌日催促スルアリ夫レニテハ早キニ
 過キタリ然シ又遅キニ過クルモ宜シカテス
 故ニ大低ノ程度ニ催促ヲモ爲シ又返金ヲモ
 爲スヘキナリ
 問 無利息ニテ金ヲ預ケ之ヲ他へ融通スル
 ヲ許サ、ルハ固ヨリ何時ニテモ取返ス
 得ル譯ケナリ之ハ預ケ主一方ノミハ便利ナ
 ル故ナリヤ
 又銀行へ金ヲ預ケルハ畢竟預ケ主ハ利息ヲ取
 リ預カリ主ハ融通スル故期限迄ハ取り返ス

トヲ得サルナリ之モ雙方トモ便利ナル故ナ
リヤ

答 第一第二トモ其通りナリ

第一千百三十五條 契約ヲ結ビタル者ハ其契約

書中ニ記セシ條件ヲ行フヘキノ義務アルノ

ミニ非ス公義習慣法律ニ循ヒ自然其契約ヨ

リ生スヘキ他ノ諸件ヲモ亦執行フ可キノ義

務アリトス

契約書中ニ其眼目又ハ大旨意而已ニテ細目ヲ

記載セサルトアル然レモ其大旨意等ヨリ起

ル細目ハ假令記載セサルトモ天然ノ法アル
公義又ハ習慣及ヒ法律ニ循ヒ之ヲ行ハサル
ヲ得サルナリ

例ハハ家ヲ借り大風ノ爲メニ半ハヲ吹キ倒サ

レ之ヲ營繕スルニ三四ヶ月ヲ費ヤストキハ

借り主ニテ其家ニ住スルトヲ得サルナリ斯

ノ如キ場合ニ於テハ初メ其契約中ニ其住セ

サル間ノ家賃ヲ出スト出サ、ルノ明文記載

ナキニヨリ其家賃ヲ貸主ニテ拂フヘシト云

フトモ之ヲ拂ハスシテ可ナリト為スハ公義

ナリ

例ハハ物ヲ買フニ其代料ヲ何月何日ニ拂フト
ノ明文ノ記載ナシトモ其物ヲ受取りタル上
ハ必ス代價ヲ拂ハサル可カラサルハ習慣ナ
リ

例ハハ田ヲ賣ルニ米ヲ植付テアル收納前ナリ
其契約書ニ何月何日ニ渡ストノ明文ハ記載
ナクトモ其收納ノ濟ミタル上ハ之ヲ渡サ
ルヲ得ス是レ亦習慣ナリ
法律トハ別段ノ方法ナリ例ハ地所ヲ買ヒク

ル後ニ一人来リテ之ハ我カ地所ナリト云フ
トキハ買主ノ迷惑ト爲ル故其賣主ハ保證人
トナリ其迷惑ヲ解カサルヲ得ス是レ法律ナ
リ

第二款 物ヲ與フ可キノ義務

第一千百三十六條 人ニ物ヲ與フヘキノ義務アル時ハ其物ヲ保全シテ後ニ之ヲ引渡スヘキノ義務アリトス若レ其義務ヲ行フヘキ者之ニ背ク時ハ義務ヲ得ヘキ者ニ對シテ其損失ノ償ヲ爲ス可シ

此條ハ此處ニ掲ク可キモノニアラス殊ニ言語ノ順序整齊ナラス例ヘハ「契約」契約」契約」ト書クヘキヲ「契約」契約」契約」ト書クヘキヲ「契約」契約」契約」ト書クヘキト書ク可キ時ニ「義務」義務」義務」ト書ク等是ナリ

ヲカレシ義務ハ何ヨリ生スルトナレハ契約ヨリ生スルモノナリ故ニ與フ可キノ義務ト云フ可カラス契約ト云フ可シ

第一ニ與フルト云フ字ヲ説カサルヲ得ス此與ノノルト云フ意味ハ人ニ物ヲ贈與スルノ與ノ

字ニアラス此所ニテハ渡ス所有ノ權ノ移ト

書ク可キナリ即其要償ニテモ恩惠ニテモ之

ヲ人ニ渡ストナリ故ニ只人ニ贈與スルトトハ異ナルナリ

贈與ノ與ナラハ別ニ部類アリ

此所ハ要償ニ付テ云フモノナル故贈與ノ與ノ字ヲ避クヘキナリ

順序ヲ立ル時ハ此條ハ此所ニ有ルヘキニアラス第千百三十八條ヨリ起ラサルヲ得ス條例ノ整齊ナラサルハ讀者ヲシテ困却セシム

此條ハ此處ニ掲ク可キモノニアラス殊ニ言語
 ノ順序整齊ナラス例ヘハ[「]契約[」]シヨント
 書クヘキヲ[「]契約[」]タラント書キ[「]契約[」]シヨ
 ント書ク可キ時ニ[「]義[」]ブリカ[「]務[」]シヨント書ク
 等是ナリ

[「]義[」]務[」]ハ何ヨリ生スルトナレハ契約ヨリ生スル
 モノナリ故ニ與フ可キノ義務ト云フ可カラ
 ス契約ト云フ可シ
 第一ニ與フルト云フ字ヲ説カサルヲ得ス此與
 フルト云フ意味ハ人ニ物ヲ贈與スルノ與ノ

字ニアラス此所ニテハ渡ス^所有^ノ權^ノ移^ト
 書ク可キナリ即其要償ニテモ恩惠ニテモ之
 ヲ人ニ渡ス^トナリ故ニ只人ニ贈與スル^トト
 ハ異ナルナリ

贈與ノ與ナラハ別ニ部類アリ
 此所ハ要償ニ付テ云フモノナル故贈與ノ與ノ
 字ヲ避クヘキナリ

順序ヲ立ル時ハ此條ハ此所ニ有ルヘキニアラ
 ス第千百三十八條ヨリ起ラサルヲ得ス
 條例ノ整齊ナラサルハ讀者ヲシテ困却セシム

ルナリ

佛國民法契約篇講義卷之三終

御用書物師

東京日本橋西河岸町

畏三堂須原鐵二

同淺草茅町二

北澤伊八

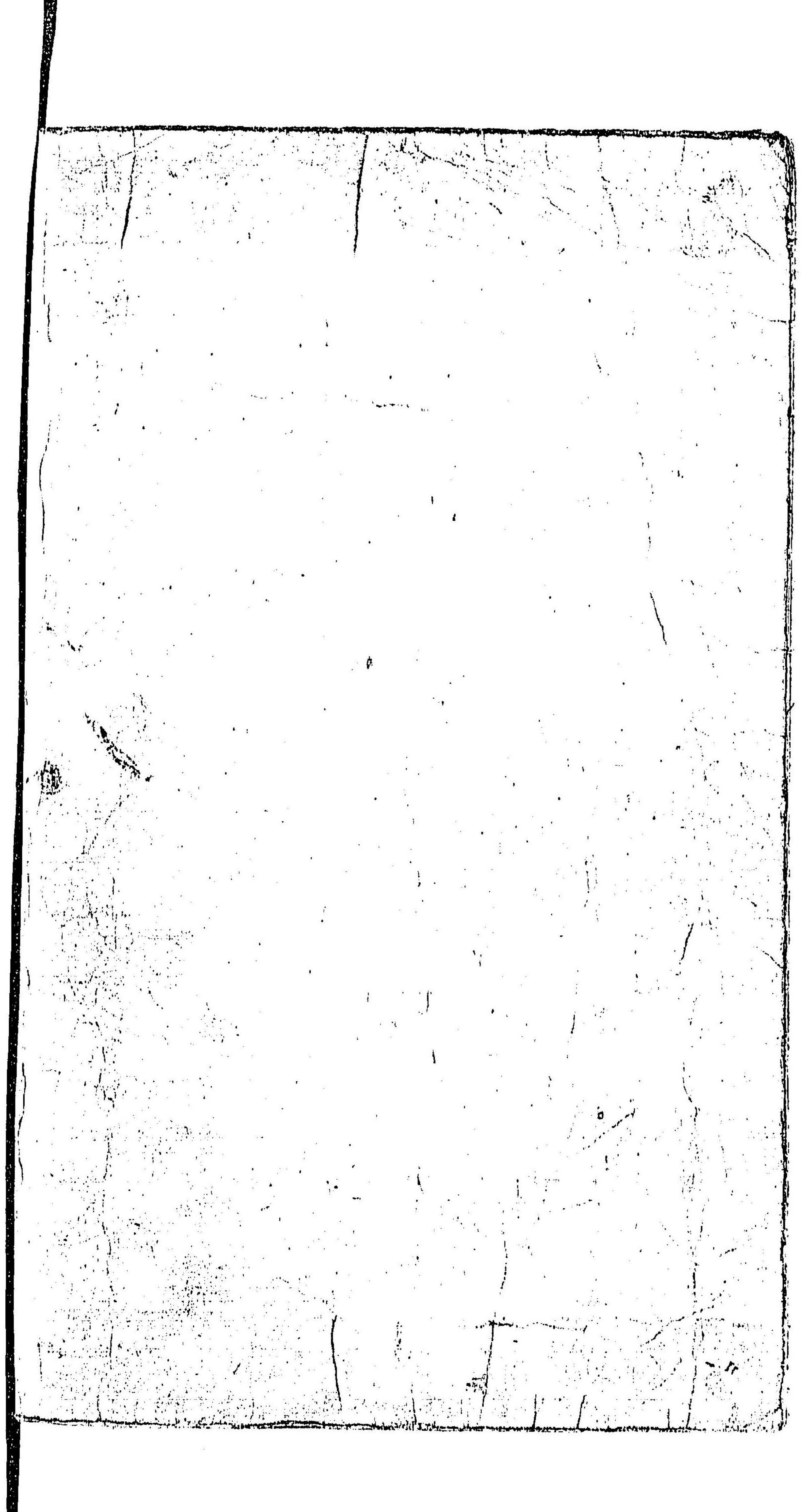
同尾張町二丁目

律書房須原量坪

大坂本町四丁目

岡島真七

定價廿八錢



佛國民法契約篇講義

三

特39

75

三本

館書圖京東

函四一門新

架二部一一

號五九四類